

高等学校第2学年 国語科 学習指導案

期 日 平成25年10月21日(月)第5校時
 場 所 熊本県立鹿本高等学校 2年2組教室
 指導者 教諭 桑島 秀光

1 題材名

評論(二) 「ヒトはなぜことばを使えるか」 山鳥 重 著 (数研出版「現代文」)

2 題材について

(1) 題材観

本題材は、失語症研究の第一人者が執筆した文章の一部である。教科書採録の冒頭部分は抽象度が高く難解な印象を与えるが、読み進むにつれて平易なことばや具体例が用いられ、全体としては高校生にも読みやすい文章だと言える。筆者は神経心理学が専攻の医師で、失語症の症例等からことばや意味、認識などのメカニズムを研究しており、本題材では心とことばの関係について述べている。

現代文Bの指導事項ア「文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること」を指導するための教材として本題材を扱う。本題材は、まず「ことばの発生」について、次に「ことばが心に与える影響」について述べ、最後に二つの内容を受けてことばと心の関係性についてまとめており、構成や展開がとらえやすい文章になっている。さらに「ことばの発生」「ことばが心に与える影響」を述べた部分についても、それぞれ意見の提示→説明→まとめという展開が見られ、構成や展開を考えさせることが可能である。

本題材を読むことを通して身に付ける「文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する」力は、社会に出て多種多様な文章を読むことになったときに必要となる力である。このような力を定着させることで、生徒自身が人間、社会、自然などについての考えを深めたり発展させたりすることに持つながっていく。よって本題材は、社会人として必要な国語の能力の基礎を育成するのに適した題材であると言える。

(2) 系統観

(高)第1学年	(高)第2学年(10月)本時	(高)第2学年(2月)
評論(一) 「食を料理する」 C読むこと(1)アエ (2)ウ 評論(二) 「なにに向かって読むのか」 C読むこと(1)イオ (2)ウ	評論(二) 「ヒトはなぜことばを使えるか」 内容(1)ア (2)イ	評論(三) 「越えてきた者の記録」 内容(1)ウ (2)エ

(3) 生徒観

- 学習に関するアンケートの結果から、本クラスの生徒の96.8%は国語の授業が好きだが、評論の授業が好きな生徒になると48.4%と半分に減少することが分かった。評論に対する苦手意識がうかがえる。
- 本クラスは友達の考えや意見に対して、質問をしたり意見を言ったりする意識が高いことが分かった。このことを生かしてグループ学習を設定することで、生徒同士が質問し、意見を述べ合いながら互いの考えを深めることができると考える。
- 本題材に関する意識調査の結果は次のとおりである。(一部抜粋)

	調査項目	とても+まあまあ
1	評論を読むとき、主要な論点と従属的な論点とを読み分けている。	58.1%
2	評論を読むとき、要旨を把握して読んでいる。	48.4%
3	評論を読むとき、その文章の題材や材料を読み取っている。	50.0%
4	評論を読むとき、段落の役割や段落相互の関係を読み取っている。	48.4%
5	評論を読むとき、構成や展開の仕方について評価しながら読んでいる。	35.5%

以上のことから、評論を読む際に内容について意識して読んでいる生徒は約5～6割(調査項目1. 2)、構成等について意識して読んでいる生徒は約半数(調査項目3. 4)、そして、構成等について主体的に考察しながら読んでいる生徒は4割に満たない(調査項目5)ことが分かる。

(4) 指導観

- 題材全体を通した言語活動として「評論『ヒトはなぜことばを使えるか』を読んで、『ことばと心』について考えをまとめる」ことを設定した。まとめる際には、文章の構成や展開を工夫し、伝えたいことを適切に表現することが大切である。そのために本題材を用いて「構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する」学習を行うことを、題材の導入時に示す。このことにより、生徒に学習の見通しや目的意識を持たせ、意欲的な学習態度を引き出したい。
- 本題材の構成や展開を考えるにあたり、他の短い文章をもとにその構成・展開をつかむ練習を補っていく。このことにより、構成や展開の型を把握させ、どんなに長い文章でも短い文章と同じ構成や展開の型があることを認識させたい。
- 第2次の学習においては、文章を読みながら各部分のメモをとらせることで段落の役割や段落間の関係、文章の展開を考えさせ、題材全体の構成や展開をつかむことにつなげたい。また、題材の前半部で筆者の用いた具体例に関して、生徒にも家族や身近な人に調査させ、情報を集めさせる。さらに、後半部に述べられている内容に関して、自分自身の経験を振り返らせる。これらのことにより、題材に書かれた内容を身近にひきつけて考えられるようにしたい。
- 第3次(本時)では、「ことばと心」について考えをまとめるための前段階として、本題材の構成・展開について自分の考えを持つ活動を設定した。ここではグループ学習の形態をとり、考えの発表とそれに対する質問をさせることで、考えの深化を図りたい。
- 第4次では、「ことばと心」について考えをまとめさせ、グループで相互評価を行わせることで、これまでの学習が生かされているかを生徒たち自身に確認させるとともに、相互評価票の生徒の記述を、教師による評価の指標としたい。

【視点1】 思考力・判断力・表現力等の育成	【視点2】 学習評価と指導の改善	【視点3】 情報活用能力の育成
【視点1】 生徒の思考力・判断力・表現力等を育成するために、思考を深める言語活動を設定し、生徒同士の学び合いを基盤とした豊かなかかわり合いのある授業づくりを目指す。	【視点2】 学習評価と指導の改善を図るために、身に付けた力を複合的に活用できる課題解決型の学習と思考力・判断力・表現力等の評価指標を工夫し、思考の過程を評価できる授業づくりを目指す。	【視点3】 情報活用能力を育成するために、目的や課題に応じた情報を収集するための方法を身に付けさせるとともに、収集した情報を分析、整理し活用するなどの主体的な情報活用を促す授業づくりを目指す。

3 題材の目標と評価規準

題材の目標	評論を読んで、構成や展開の仕方をたどりながら筆者の考えを的確にとらえ、その論理性を考察することができる。	
関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
イ「論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書く」言語活動を通じた指導		
①文章の内容と論理の構成や展開との関係について考察しながら読もうとしている。	①文章の構成や展開を確かめ、筆者の伝えたいことが効果的に表現できているかどうかを考察している。	①筆者の用語について、文脈上の意味や用法を考えている。 ②自分の考えをまとめる際に、筆者の表現上の特色を生かしている。

4 指導・評価の計画（7時間取扱い 本時6／7）

次	時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 【三つの視点から】	評価の観点（評価方法） B基準
1	1	○学習の目標を知り，見通しを持つ。 ○本文を読み，要約する。	・「ことばと心」について考えをまとめるという学習課題を示し，そのために本題材で文章の構成や展開をとらえ，その効果を評価することを伝える。 【視点1】指導事項を明確化し，題材全体を通した言語活動を理解させる。 ・キーワードや形式段落の役割を考えながらまとめさせる。	関心・意欲・態度①（ワークシート） 文章の内容に関心を持ち，形式段落の役割を考えながら読もうとしている。
2	2 （ 5	○形式段落の役割を確認しながら，ことばの発生やことばが心に与える影響についての筆者の考えをとらえる。 ○本文の表現の仕方とその効果について考える。	・筆者の意見の部分と事実や例を示した部分の読み分けをさせる。 ・ことばと心との関係性をとらえさせる。 ・事実や例示の効果，展開の仕方の効果について考えさせる。 【視点2】本文の構成・展開を「読み取りメモシート」に書かせることで，生徒の思考過程や理解度を確認する。	読む能力①（発言，ワークシート） 展開の仕方をたどりながら筆者の考えをとらえ，その論理性について考えている。 知識・理解①（発言） 筆者の用語について，文脈上の意味や用法を考えている。
3	6 （ 本時）	○本文の構成や展開の仕方について自分の考えを書く。	・本文全体の構成や展開の仕方を把握させ，それが筆者の伝えたいことを表現するために果たしている効果について考えさせる。 【視点1】本文の構成や展開の仕方について意見を書くという活動を通して，自分の考えを形成させる。グループで互いの考えを交流させることで，思考の深化を図る。	読む能力①（発言，ワークシート） 文章の構成や展開を確かめ，筆者の伝えたいことが効果的に表現できているかどうかを考察している。
4	7	○「ことばと心」について考えをまとめる。 ○生徒同士で相互評価する。	・文章内容の読み取りをもとに，自分の考えをまとめさせる。 ・前時までに学習した構成や展開の仕方を踏まえて書かせる。 【視点2】相互評価を行わせることで，生徒の思考過程を可視化し指導と評価の改善を図る。 【視点3】自分の考えを表現するのにふさわしい情報を選択させ，文章中での効果的な使い方を考えさせることで，情報活用能力を養う。	知識・理解②（ワークシート） 自分の考えをまとめる際に，筆者の表現上の特色を生かしている。

5 本時の学習

(1) 目標

筆者が文章をどのように構成し展開しているかを把握し、その表現の仕方が筆者の伝えたいことを表現するために果たしている効果について、自分の考えを持つことができる。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 【三つの視点から】	備考
導入 5分	1 本時の課題を確認する。	○本文について、構成や展開の仕方を確かめ、伝えたいことを表すのに効果的な表現になっているか考えましょう。	○これまでに学んだ構成の型や展開の仕方を思い出し、メモシートを活用するという意識を持たせる。	構成の型 メモシート
自分の表現に生かすために、本文の構成や展開を確かめ、その表現効果について考えよう				
展開 40分 (15)	2 構成・展開について考える。 (1) 本文全体について考える。 (2) 第一段落、第二段落について考える。 (3) グループで確認する。	○本文を三つに分けるとすると、どこで分かれま すか。 内容や段落の役割を考 えて分けましょう。 ○展開を図示し、構成 の型を考えましょう。	○既習事項を活用させる。	本文プ リント ワーク シート
(10)	3 表現効果について考える。 (1) 自分の考えを書く。 【言語活動】 文章の構成や展開の仕方などについて意見を 書かせることで、生徒自身の思考力・判断力・表現力等を育てる。	○筆者の構成や展開の仕方は、伝えたいことを表現するのに効果的だと思いますか。	読む能力③(ワークシート) B基準 文章の構成や展開をつかみ、その効果について自分の考えを書いている。 A基準 文章の構成や展開について説明し、筆者の表現意図等を踏まえて、表現効果についての自分の考えを書いている。 (B基準に達していない生徒への手だて) これまでの学習で用いたワークシート等を振り返らせ、参考にさせる。	ワーク シート
(15)	(2) グループで互いの考えを交流する。 (3) 代表者が自分の考えと友達からの質問や意見を発表する。	○友達の考えについて質問や意見を出し合いましょ う。 ・どんな点について ・どう考えたか ・なぜそう考えたか ・どう改善すればよいか ・ほかに良い案はないか	【視点1】 本文の構成や展開の仕方について意見を書くという活動を通して、自分の考えを形成させる。グループで互いの考えを交流させることで、思考の深化を図る。	
整理 5分	4 学習のまとめをする。	○友達の質問や意見を生かし、修正を加えましょ う。 ○今日の学習を小論文に生かしましょ う。		